

# 有田川町天文ニュース（6・7月号）

有田川町天文クラブ・有田川町教育委員会社会教育課

## ★ 月と火星が大接近！？

6月1日の夕方に注目しましょう。日没後の南西から西の空に、三日月よりも少し太目の月が見えます。その月のすぐ近くに少し赤っぽい火星を見つけることができます。最も接近するのは6月1日の日没後で、このとき火星と月の間隔は、月の直径よりも小さくなっています。

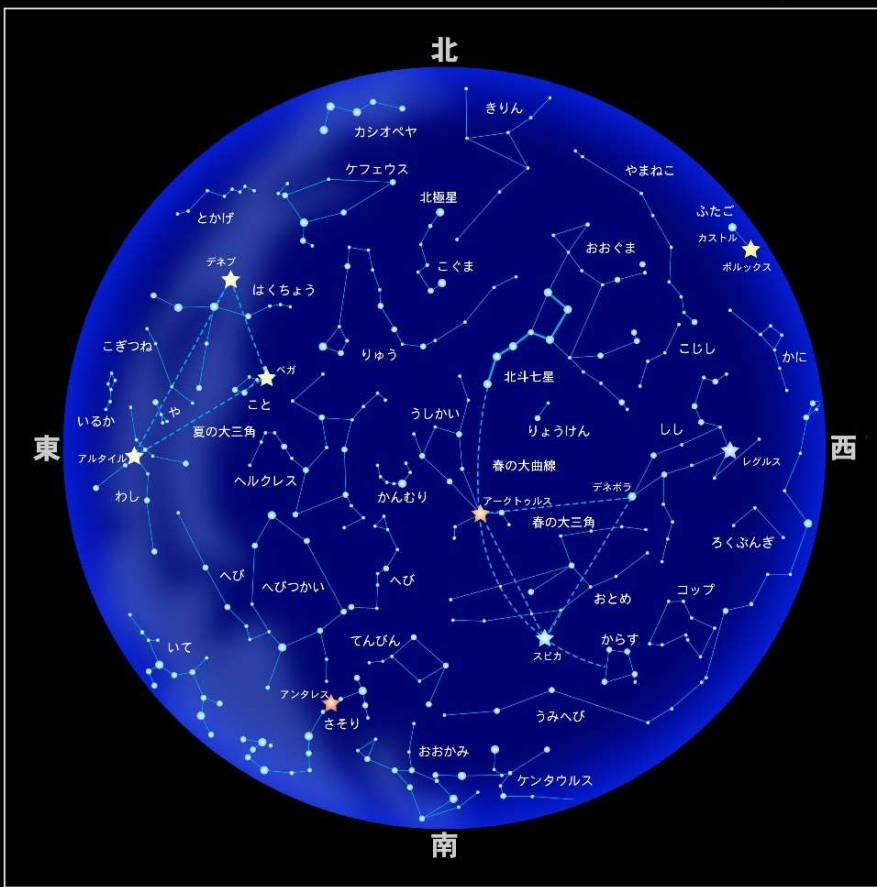


## ★ 水星を見つけよう！

7月4日、水星は地球から見て太陽から最も離れた位置を通過します。この時期が水星を観察しやすい時期になります。今回は、日の入り直後の西北西の空に見えます。6月下旬から7月上旬が、観察の好機になります。

6月中旬午後9時頃 東京の星空

June



※惑星・月は表示していません。

NACJ 国立天文台 天文情報センター

## ★ 星の明るさとは？

遠くの家の方が暗く、近くの家の方が明るく見えることは、生活の中で経験し、知っていることと思います。同じことが、夜空の星についても当てはまります。

|       | 見た目の明るさ（等） | 距離（光年） | 絶対等級（本当の明るさ） |
|-------|------------|--------|--------------|
| ベガ    | 0.03       | 25     | 0.6          |
| アルタイル | 0.7        | 17     | 2.2          |
| デネブ   | 1.25       | 1400   | -6.9         |

7月7日は七夕です。七夕が関係する3つの一等星、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブについて説明します。表のように、3つの一等星の中ではベガがいちばん明るく見え、デネブがいちばん暗く見えます。（数字が小さいほど明るい）距離を比べると、ベガまでが25光年、アルタイルまでが17光年であるのに対して、デネブまでの距離は1400光年とはるかに遠く離れています。しかし、絶対等級はデネブが-6.9と圧倒的にほかの星に比べて明るいので、デネブも一等星の仲間に入ります。

## ★ 惑星

水星・・・6月下旬から7月上旬にかけ、日没後、西北西の空の低い位置に見ることができます。

金星・・・日の出前の東の空に、明るく輝いています。

火星・・・日没後の西の空、しし座付近に見えます。

木星・・・6月中旬まで、日の入り後の西の空に見ることができますが、徐々に高度が低くなり観察が難しくなります。

土星・・・6月は日の出前の南東の空、うお座付近で輝いています。